

安全かつ快適な交通の確保 交通事故対策

- 運転に必要な情報処理能力評価

現状：運転者の情報処理能力に関する認知科学的研究

さまざまな道路交通環境における運転に必要な情報処理能力

科学警察研究所特別研究課題(H17 - H19)

課題：高齢運転者や危険性の高い運転者に対する安全運転者教育

- 交通事故事件捜査支援

現状：交通事故自動記録装置

センサー(音) + 画像メモリ + VTR -> 交通事故解析
(交差点での運用)

課題：車載電子機器の交通事故解析に対する活用

車載型事故記録装置、各種車載電子機器(センサ + マイコン)による記録情報
電子データの解析方法、画像計測、精度と信頼性の評価

鑑定(速度・車両挙動・運転操作の解析)

運転者の情報処理能力に関する認知科学的研究

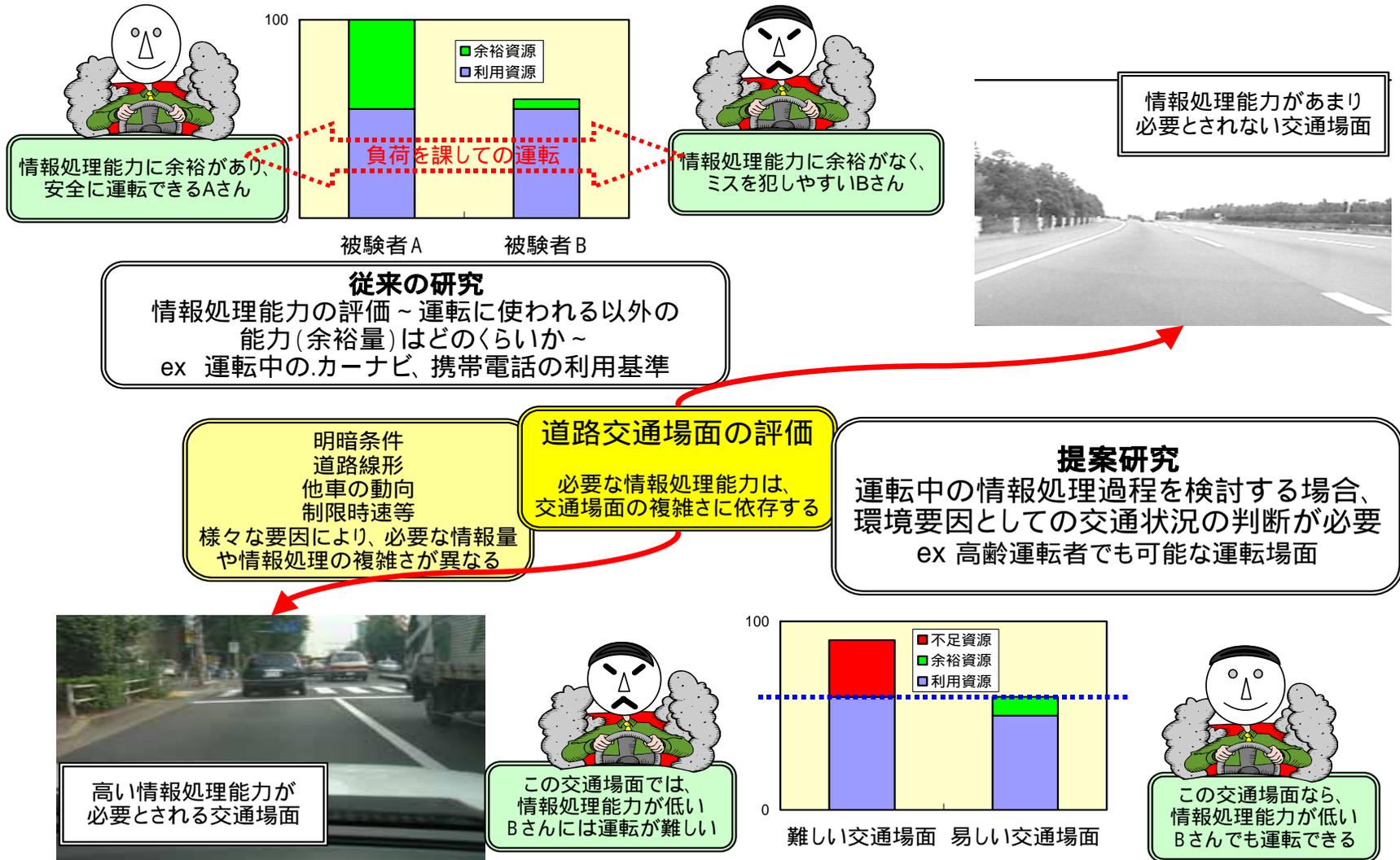


図 提案研究の中で行う研究例の概念図

安全に資する科学技術PTへの提案・論点

警察現場活動の要望を踏まえた科学技術の活用拡大
部外関連研究機関との連携強化

警察庁内の研究・開発の評価体制の充実

上記課題解決に向けた競争的資金の予算確保

治安対策に係る科学技術活用に関する国民の理解の確保

日本の技術の強みを生かした研究開発

科学技術が「安全に資すること」